カトリック中央協議会
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN
会報

≪2022年7月号（600号）≫

目　　次

報　告
・常任司教委員会…… 1
・社会司教委員会…… 4
・典礼委員会…… 5
・難民移住移動者委員会…… 6
・カリタスジャパン…… 9
・正義と平和協議会…… 11
・部落差別人権委員会…… 12
・中央協議会事務局（総務）…… 13
公文書…… 15

常任司教委員会

■5月定例常任司教委員会

日　時　　2022年5月12日（木）10:00-13:30
場　所　　マレラホール
出席者　　委　員　7名
　　事務局　7名

報　告

1.　法務大臣宛て要望書提出について
　2022年度定例司教総会での諸意見に基づき社会司教委員会が修正を加えた、在留特別許可のための法

務大臣宛要望書を配達証明対応で郵送したことが報告された。

2. FABC50 周年総会日程について
FABC 中央委員会より、FABC50 周年総会の日程が 2022 年 10 月 12 日（水）－10 月 30 日（日）となった通知が届いたので、FABC50 周年総会参加司教に通知を行った。

3. 広島教区シノドス開催について
白浜 満司教より広島教区で開催した教区シノドスに関する報告が届いた。教会法第 467 条の規定に従い、大阪管区大司教の前田万葉枢機卿と司教協議会会長の菊地 功大司教に 5 月の常任司教委員会を機に広島教区シノドスについて通知したい要望であった。

審　議

1. 2022 年 7 月司教総会の開始時間および終了時間の確認について
本年 7 月の定例司教総会は開始日の月曜日が祝日（海の日）のため、7 月 19 日（火）－22 日（金）の会期となり、会期が通常より 1 日少ない日程となっているため、審議時間の関係上、7 月 22 日（金）の総会終了時刻を 15 時として全司教に通知する。

2. エキュメニズム部門からの提案について
シノドスのテーマに関するキリスト教諸派からの意見収集方法として、4 月常任司教委員会での諸意見を受けてエキュメニズム部門から再提案された、司教団と聖公会、ルーテル教会、日本キリスト教協議会（NCC）の各教団代表者との懇談会と合同礼拝の実施概要を承認した。

3. 教皇庁改革のための使徒憲章への対応について
教皇フランシスコが長年準備していた教皇庁改革に関する使徒憲章が 2022 年 3 月 19 日に発表されたことを受け、この使徒憲章により提示された教皇庁の各部署の日本語名称について検討し、本常任司教委員会で確定した名称確認と一部未確定部分の検討を 6 月常任司教委員会で行う。

4. 日本聖書協会からの理事推薦依頼について
日本聖書協会から要請されている、同協会の次期カトリック教会側の理事候補者として、菊地 功大司教を継続して推薦することを承認した。

5. 2023 年祈祷の使徒「日本の教会の意向」について
本常任司教委員会の諸意見を受けて修正した 2023 年祈祷の使徒「日本の教会の意向」を 6 月の常任司教委員会に諮って確定する。

6. 教皇庁教育省指針「対話の文化のためのカトリック学校のアイデンティティ」（仮題）の翻訳出版について
学校教育委員会からの提案である、教皇庁教育省指針「対話の文化のためのカトリック学校のアイデンティティ」（仮題）をカトリック中央協議会出版部から翻訳出版行うことを承認した。なお同文書の翻訳の監修は学校教育委員会で行う。

7. 教皇および教皇文書のデジタル版公開について
これまでに中央協議会から翻訳出版された教皇および教皇庁文書、ならびに将来翻訳出版される同種のもののデジタル版を教皇庁のウエブサイトを通して公開する。なお、教皇文書のウエブ公開にあたって、改訂が必要な内規を調査し、必要であれば 6 月常任司教委員会に改訂版を提出する。

8. 中央協議会ウエブサイト掲載の祈りのダウンロードについて
中央協議会ウエブサイトに掲載されている司教協議会認可の祈りについては、「カトリック中央協議会著作権物使用許諾に関する規程」第 3 条に定める、同規程が定める著作権物使用に当たっての条件を免除する対象として、使用許諾なしに自由に取得できるようにする。

9. 日本カトリック学士会からの公認団体登録取り下げ申請について
日本カトリック学士会からの司教協議会の公認団体登録取り下げの依頼については、同会が正式に解散した際に公認団体の申請取り下げを受理することとする。

■6 月定例常任司教委員会

日　時　　2022 年 6 月 2 日（木）10:00-15:15
場　所　　マレラホール
出席者　　委　員　6 名
　　事務局　7 名

報　告

1. 新枢機卿任命について
   教皇フランシスコが 5 月 29 日の「アレルヤの祈り」で新しい枢機卿 21 人の任命を発表したことが報告された。
2. ミサ典礼書会衆用式次第について
   本年の待降節第一主日（2022 年 11 月 27 日）から「ミサの式次第と第一～第四奉献文」が変更になるが、会衆用式次第については以下の出版社で準備していることが報告された。
   ・ドンボスコ社『祈りの手帳』
   ・オリエンス宗教研究所『ともにささげるミサ（新訂版)』
   ・光明社『ミサ式次第（簡易版)』
   ・サンパウロ『キリストと我等のミサ』

審　議

1. 2022 年度第 1 回臨時司教総会の内容確認に関する件
   本年 7 月 19 日（火）－22 日（金）開催予定の臨時司教総会で取り扱う報告事項および審議事項の内容確認をおこなった。議案については、7 月常任司教委員会で確定する。
2. 2022 年第 1 回臨時司教総会に提案する総合的エコロジーを推進するための担当部署について
   社会福音化推進部内に設置する、日本の教会として環境問題に取り組むための部署名を「ラウダート・シ」デスクとして、7 月臨時司教総会に提案する。
3. 2022 年第 1 回臨時司教総会中に開催する合同礼拝について
   7 月の臨時司教総会中に開催する聖公会・ルーテル教会・日本キリスト教協議会（NCC）とカトリックの合同礼拝式次第については、本常任司教委員会での諸意見に基づいて修正した式次第を使用する。
4. 2022 年平和旬間会長談話について
   2022 年平和旬間に向けての日本カトリック司教協議会会長談話については、本常任司教委員会の諸意見を加味して修正し、7 月中に発表する。
5. 教皇庁改革のための使徒憲章への対応について
   教皇庁改革に関する使徒憲章で変更された教皇庁の各部署の日本語名称について、5 月常任司教委員会で懸案となっていた名称を確定した。
6. 2023 年祈祷の使徒「日本の教会の意向」について
   5 月常任司教委員会での諸意見に基づき修正を加えた 2023 年祈祷の使徒「日本の教会の意向」を承認した。
7. 在留特別許可の署名について
   5 月に法務大臣宛に在留特別許可要請を送付したことを受け、その後、各教会、その他団体に呼びかけることになっている署名活動については、オンライン署名を基本とし、一日も早く強制送還の危機にさらされている多くの子どもたちに在留特別許可がおりるようなキャンペーンを行う。
8. 日韓司教交流会の内容について
   本年 11 月に開催予定の日韓司教交流会の内容の一部変更を承認した。
9. 青少年司牧部門からの要望について
   青少年司牧部門から提出された今後の同部門のあり方に関しては、問題点を把握し、よりよい部門の

活動ができるよう継続して検討を行う。

10. ウクライナ支援についての社会司教委員会から各教区へのアンケートについて
社会司教委員会系の諸委員会として、各教区のウクライナ支援の情報を共有することが必要なことから、各教区事務局に社会司教委員会委員長名で「ウクライナ難民の支援についてのアンケート」を行うことを承認した。

11. 「ともに生きる―総合的エコロジーへの取り組み」冊子について
7 月の臨時司教総会で確定予定であった、日本の教会として環境問題に取り組むための指針となる冊子「ともに生きるために－総合的エコロジーへの取り組み－」については、専門家によるチェックと文書の校正が 7 月となるため、完全原稿ができた段階で、常任司教委員会で検討を行い、12 月の臨時司教総会において冊子発行について報告を行う。

12. ERST（緊急対応支援チーム）細則について
カトリック中央協議会に常設された復興支援室のもとに置かれる ERST（緊急対応支援チーム）の組織や役割について規定するため、カリタスジャパンから提案された ERST 細則を承認した。

13. 教皇および教皇文書のデジタル版公開について
5 月の常任司教委員会で承認された中央協議会から翻訳出版された教皇および教皇庁文書を教皇庁のウエブサイトに掲載し、公開することを受け、「ドメインおよびウエブサイト管理運用規程」4 章 37 条の改訂を承認した。

14. 2023 年度日本カトリック司教協議会年間行事予定に関する件
1）2023 年度の定例司教総会、臨時司教総会（第 1 回、第 2 回）の日程案を以下のとおり 2022 年度第 1 回臨時司教総会に提案する。
2023 年度定例司教総会　2023 年 2 月 13 日（月）－17 日（金）
2023 年度第 1 回臨時司教総会　2023 年 7 月 18 日（火）－21 日（金）
2023 年度第 2 回臨時司教総会　2023 年 12 月 14 日（木）
2）アジア大陸別シノドス開催のため、2023 年 3 月 2 日（木）の常任司教委員会を 3 月 9 日（木）に変更する。
3）2023 年 4 月～2024 年 3 月までの常任司教委員会の日程を確定した。
4）2024 年度定例司教総会日程案を 2024 年 2 月 13 日（火）－16 日（金）とすることを申し合わせた。

社会司教委員会

■事務局会議

日　時　　2022 年 5 月 11 日（水）16:00-18:00
場　所　　第 2 会議室（ハイブリッド）
出席者　　5 名
陪　席　　1 名

報　告

1. ウクライナに関わる募金の事務処理のための派遣職員雇用について

審　議

1. 社会司教委員会拡大合同会議・第 2 回定例委員会アジェンダ作成
2. 司教のための社会問題研修会（2022 年 12 月 9 日開催予定）　事務局案（たたき台）の作成

■職員秘書拡大合同会議

日　時　　2022 年 5 月 17 日（火）13:00-15:00
場　所　　マレラホール（ハイブリッド）
出席者　　27 名

報　告

1. 各委員会・デスクの紹介と優先課題について
2. JYD 対面式集会開催について
   コロナ禍のため、2020 年、2021 年と開催中止となっていた JYD の 2022 年の対面集会（5 月 3～5 日に開催を予定）に、社会福音化推進部の各部署も参加を予定していたが、結局 2022 年もコロナ感染状況から、中止となった。

3. ウクライナ支援について
   1）カリタスジャパンのウクライナ支援の募金及び送金状況
   2）教区、修道会などのウクライナ避難民支援状況、支援の準備状況
   このほか、各教区、学校関係の避難民受け入れ情報を集約し共有するシステムの構築についての話し合いが行われた。

審　議

1. 司教のための社会問題研修会（2022 年 12 月 7 開催予定）のテーマについて
   ウクライナ、ロシアの戦争を契機に日本社会に広がる軍拡、改憲の流れについて、反戦、非暴力平和、日本国憲法支持を貫いてきた日本司教団としての対応を検討する契機を作る。
   準備担当は正義と平和協議会、同改憲対策部会。

■社会司教委員会定例会議

日　時　　2022 年 5 月 17 日（水）15:00-17:00
場　所　　マレラホール（ハイブリッド）
出席者　　15 名

審　議

1. ハンセン病問題冊子（以下、冊子）の発行について
   冊子最終案を承認し、発行部数 10000 部を承認する。ただし最終的な発行部数については中央協議会出版部と協議して決定する。

典礼委員会

■ 定例会議

日　時　　2022 年 5 月 16 日（月）10:00-16:00
場　所　　ウェブ会議
出席者　　10 名
欠席者　　1 名

報　告

1. 新しい「ミサの式次第と奉献文」にかんする各教区説明会協力状況
   本年の待降節第一主日より実施される新しい「ミサの式次第と奉献文」の周知のために、昨秋より各教区で説明会が行われている。それを受けて、講師として協力した委員からの報告および今後の予定等について情報交換を行った。

審　議

1. 全国典礼担当者会議開催要項について
   本年 9 月 5 日－7 日に開催予定の掲記会議について、各教区典礼担当者への案内、プログラムなどの確認を行った。テーマは新しい『ローマ・ミサ典礼書』の実施に向けて②」。本年は中軽井沢・御聖体の宣教クララ修道会を会場とするが、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、各教区典礼担当者 1 名の参加とする。
2. 聖歌作品の認可について
   前回会合に引き続き、認可申請のあった聖歌作品について、検討を行った。
3. 新しい「ミサの式次第と奉献文」の実施に向けて
   新しい「ミサの式次第と奉献文」の司式者用儀式書の内容、「『ローマ・ミサ典礼書』の総則」本文などの確認および、必要事項について検討を行った。今会合での意見と合意事項をもとに修正し、7 月の臨時司教総会に提出する準備を行う。

次回日程
定例会議　2022 年 7 月 11 日（月）10:00-15:00

■典礼音楽担当部門

日　時　　2022 年 6 月 4 日（土）9:30-15:00
場　所　　イエスのカリタス修道女会本部（東京・杉並区）
出席者　　4 名他

審　議

1. イエスのカリタス修道女会「スモールクワイア」の協力のもと、新しい「ミサの賛歌」（ミサ曲）の録音を行った。

難民移住移動者委員会

■第 2 回定例委員会

日　時　　2022 年月 5 月 6 日（金）11:00-17:00
場　所　　ウェブ会議
出席者　　13 名

オリエンテーション　難民移住移動者委員会中期計画の振り返りと、3 つの優先課題ごとの分かち合い。

報　告

1. 人身取引問題に取り組む部会（タリタクム日本）報告

2. アドボカシー啓発プロジェクト報告
3. 船員司牧部会（ステラマリス日本）報告
4. ベトナム人司牧者のつどい予定、スペイン語話者司牧社会（APALA）報告
5. ケベック外国宣教会の法人解散に伴う寄付申し出について
6. 各管区、教区からの報告

審　議

1. 2022年度担当者･ネットワーク合同会議で話し合うテーマについて意見交換を行った。対面を基準に、場合によってハイブリッドで開催することを確認した。
2. 避難民、難民、移住者の受け入れに関する委員会メッセージの内容について討議した。
3. 緊急で企画が立ち上がった技能実習制度廃止！全国キャラバンについて情報共有があり、キャラバンと並行して行われる各地での行事への参加呼びかけを行うことを確認した。

■第5回事務局会議

日　時　　2022年5月12日（木）15:00-17:00
場　所　　ウェブ会議
出席者　　6名

審　議

1. 技能実習制度廃止！全国キャラバンへの賛同を決定した。カトリック教会としては各地での参加、賛同を呼びかける。
2. 定例委員会での中期計画分かち合いを振り返り、今後に向けて意見交換した。情報交換会での意見等も踏まえ、次回定例委員会に向けて事務局会議で検討、準備する。
3. 日本政府の避難民受け入れと、難民移住移動者司牧・支援に関して協議した。委員会として準備するメッセージ内容を最終確認した。
4. 今年度難民移住移動者委員会活動支援・タリタクム日本活動支援（人身取引被害者支援）献金の見込みを踏まえ、意向に沿った扱いについて検討した。まずは委員会の緊急援助金制度について、担当者、委員に再度案内する。

■第2回　船員司牧部会（ステラマリス日本）コア会議

日　時　　2022年5月19日（木）14:00-17:00
場　所　　ウェブ会議
出席者　　7名

報　告

1. 各教区・港の報告、情報共有（変化や特記すべきことなど）
2. 委員会からの報告、情報共有など

審　議

1. 2022年船員の日（7月10日）に向けて、船員の日メッセージを読み合わせて確定し、教会内に向けた具体的な呼びかけ内容について検討した。
2. 7月18日（月・祝）オンラインで予定の、船員司牧（ステラマリス）全国研修会企画について検討した。

3. 8月30日（火）～31日（水）拡大コア会議企画に向けて意見交換を行った。
4. ステラマリス日本の英語ウェブページについて検討した。

■2022年タリタクム日本オンラインセミナー

日　時　　2022年5月21日（土）14:00-16:00

テーマ　　技能実習制度の課題と新たな外国人労働者受け入れ制度を考える
　　～制度見直しの動きとカトリック教会の取組みから～

内　容

挨拶と趣旨説明	山野内倫昭司教（J-CaRM委員長）
講演「外国人労働者受入れ制度見直しの課題」	旗手明さん （外国人技能実習生権利ネットワーク運営委員）
札幌教区からのケース報告	西千津さん（札幌教区難民移住移動者委員会）
さいたま教区からのケース報告	シスターレ・ティ・ラン（さいたま教区オープンハウス）
福岡教区からのケース報告	有吉和子さん（福岡教区難民移住移動者委員会）
質疑応答	
閉会の挨拶	シスター弘田しずえ（タリタクム日本運営委員長）

今回のタリタクム日本のセミナーは、英語の同時通訳付きでオンラインで開催した。100件を超える申込みが修道院や国内外各地から寄せられ、約300人の参加者が日本の技能実習制度の実情と課題について理解を深め、日本の外国人労働者受入れ制度に対する問題意識を分かち合った。

■第22回人身取引問題に取り組む部会（タリタクム日本）運営委員会

日　時　　2022年月5月25日（水）14:00-16:00
場　所　　ウェブ会議
出席者　　12名

報　告
1. タリタクム日本オンラインセミナーについて
2. タリタクム・インターナショナルとタリタクム・アジアの取組みについて
3. ユース・アンバサダーの活動について
4. シェルターのケース報告

審　議
1. 人身取引反対世界デー（7月30日）の祈りのプログラムについて審議した。
2. 『Call to Action（活動への呼びかけ)』の邦訳を確認し、その広報手段について話し合った。
3. タリタクムンオンラインセミナーの録画記録とアンケート回答の扱いについて討議した。
4. 8月にタイで行われるタリタクム・アジア地域会議への参加者を決定した。

■難民・移住労働者問題キリスト教連絡会（難キ連）世話人会

日　時　　2022年月5月26日（木）15:00-16:00

場　所　　ウェブ会議
出席者　　カトリックより２名

審　議
1.　2021 年度活動報告
2.　2021 年度会計報告
3.　2022 年度活動計画について
4.　当面の組織運営について
5.　2022 年度予算案

以上について、前年度繰越金と次年度繰越金の数字の記載ミス修正を確認された上で承認され、黙祷をもって閉会した。

カリタスジャパン

■第３回　教区担当者実行委員会

日　時　　2022 年５月 18 日（水）13:30-15:00
場　所　　ウェブ会議
出席者　　９名

審　議
1.　2022 年度 定例全国教区担当者会議について
・10 月４日～5 日、カトリック河原町教会にて定例全国教区担当者会議を開催する。
・宿泊場所、参加方法、会議内容、今後のスケジュールについて確認した。
・日程案に沿って議題ごとの司会進行役を審議し決定した。

■第３回　啓発部会会議

日　時　　2022 年５月 25 日（水）13:30-15:30
場　所　　ウェブ会議
出席者　　12 名

報　告
1.　事務局報告
2.　21 世紀キリスト教社会福祉実践会議

審　議
1.　国際カリタスキャンペーン「Together We」について
1）2022 年度　スケジュール
・ニュースレター We are Caritas 25 号をキャンペーン特集号とし、７月 15 日付で発行する。
・教区担当者会において教区でのキャンペーン推進に向けた管区毎の打合せを６月中に開催し、各教区でのキャンペーンチーム結成の可能性、周知活動について確認する。
・７月臨時司教総会において成井司教より実施趣旨説明および各教区への協力依頼を行う。
・７月以降、カトリック学校との意見交換の場を持つ。
・本年度は「気づきの年」として、各教区で展開する。

2）啓発部会としての取組みの一つである「当事者の声」を届けるという事柄については、キャンペーン資料の作成に活かす。その他必要に応じた資料作成等については、部会を待たず、適宜話し合う。

2. その他

1）国内援助方針の見直しについて、援助部会において取組み方法や日程決定後に、啓発部会委員にも参加要請がある。

年間会議日程：

2022 年	第 4 回	2022 年 07 月 27 日（水）	13:30-15:30
	第 5 回	2022 年 09 月 21 日（水）	13:30-15:30
	第 6 回	2022 年 11 月 11 日（金）	10:00-12:00
2023 年	第 1 回	2023 年 01 月 27 日（金）	10:00-12:00
	第 2 回	2023 年 03 月 24 日（金）	10:00-12:00

■第 4 回　事務局会議

日　時　　2022 年 6 月 1 日（水）13:30-15:30

出席者　　8 名

報　告

1. 援助部会　2022 年 6 月会報「第 2 回援助部会会議」を参照のこと
2. 啓発部会　本誌「第 3 回啓発部会会議」を参照のこと
3. 事務局

1）ウクライナ危機人道支援

・募金額：約 1 億 3816 万円。

・支援額：約 6,100 万円（45 万ユーロ）送金済。内訳は、ウクライナに 20 万ユーロ。モルドバ、ポーランド、ルーマニア、チェコ、スロバキアに各 5 万ユーロ、計 25 万ユーロ。

2）教区担当者会

・全国教区担当者会議を 10 月 4 日（火）09:00－5 日（水）13:00、京都教区 河原町教会にて実施する。

・6 月中に、国際カリタス グローバルキャンペーンについての管区別打合せを実施する。

審　議

1. 国際カリタス グローバルキャンペーン

7 月の司教総会でのキャンペーン報告を日本におけるキャンペーンのキックオフとする。また We are Caritas25 号（7 月 15 日発行）ならびにキャンペーン動画等にて周知を行う。

2. 中期戦略計画ワークショップ

本ワークショップを 2022 年 11 月 30 日（水）－12 月 2 日（金）に聖心会裾野マリア修道院（静岡県裾野市）にて実施する。ワークショップまでに、今期 Operational Plan の振り返りを各部会、関係する部署、事務局で行う。

3. CI MS（国際カリタス管理基準）

本年度は、4 年に一度の更新作業（評価）の年度となる。評価の手順を確認し、自己評価の前に、前期の振り返りと見直し作業を行う。

4. 国内援助方針の見直し

6 月 22 日のカリタスジャパン委員会・部会合同会議にて、カリタスジャパンが目指す国内援助活動について意見交換を行う。

5. カリタスジャパン委員会・部会合同会議議案
国内援助活動、中期戦略計画ワークショップ、国際カリタス グローバルキャンペーンなどについて審議する。

今後の会議日程

2022 年　第 5 回　2022 年　8 月 1 日（火）13:30－15:30
第 6 回　2022 年 10 月 11 日（水）13:30－15:30
第 7 回　2022 年 11 月 30 日（木）－12 月 3 日（金）上記ワークショップ期間中に実施予定
2023 年　第 1 回　2023 年　1 月 31 日（水）13:30－15:30

正義と平和協議会

■定例委員会

日　時　　2022 年 5 月 13 日（金）13:00-17:00　5 月 14 日（土）10:00-12:00
場　所　　日本カトリック会館　会議室 2（13 日）、カトリック麹町教会ヨセフホール（千代田区）（14 日）
オンライン併用
出席者　　16 人

報　告

1. ウクライナ関連報告
「声明文　ウクライナへのロシア軍軍事侵攻の中止を！」（2022.2.25）
ウクライナを覚えて平和を祈るキリスト者祈祷会
（第一回　3.18　第二回　4.19　第三回　5.6　オンラインで実施）
2. 事業報告
正義と平和ワンポイントメッセージ「ある外国籍大学生の訴え～日本社会を囲む見えない壁」（2022.3.10 公開）講師　みゆきさん、ビスカルド篤子さん（大阪教区社会活動センターシナピス）
3. 事務局会議報告
4. 部会報告
5. 外部会議報告

審　議

1. 会長選出
責任司教のウェイン・バーント司教を会長に選出した
2. 正義と平和全国会議について
3 月 4 日から 5 日かけて行った全国会議の振り返りと意見交換を行った。回勅『兄弟の皆さん』の内容を今後とも深め、今後の活動の指針にしていくことを確認した。
3. 正義と平和協議会の優先課題
現状を振り返り、優先課題を分かち合う。取り組みについては事務局会議で検討していく。
4. 次回全国集会開催地について
全国集会の開催目的、開催方法を確認した。継続して検討していく。
5. 各教区の正義と平和の活動について、状況確認と意見交換を行った。

■正義と平和協議会推薦映画『標的』上映会とトーク

日　時　　2022 年 5 月 14 日（土）14:00-17:00

場　所　　カトリック麹町教会ヨセフホール（千代田区）

参加者　　60 人

内　容

当協議会推薦映画『標的』(2021 年製作　西嶋真司監督）を上映後、当時者の植村　隆さん（元「朝日新聞」記者、「週刊金曜日」発行人兼社長）と古屋敷一葉修道女（援助修道会）のトークを行った。植村さんは日本国内の保守系メディアから司法にまで及ぶさまざまな弾圧を受け、新聞記者の職を追われながら、弾圧に全力で抵抗を続け、韓国でカトリック信仰と出会い、洗礼を受けた。トークでは信仰との出会いの経験、正義への信念について語った。

■事務局会議

日　時　　2022 年 5 月 27 日（金）10:00-12:00

場　所　　ウェブ会議

出席者　　6 人

報　告

1. 事業報告
   1）第 3 回「ウクライナを覚えて平和を祈るキリスト者祈祷会
   日時　5 月 6 日（金）20:00-21:00
   共催　日本キリスト教協議会、平和を実現するキリスト者ネット、日本カトリック正義と平和協議会
   参加者　100 人
   2）正義と平和ワンポイントメッセージ「戦時下における原発・核関連施設の安全性問題」(2022.5.23 公開)
   講師　高野聡さん（原子力資料情報室）
2. 業務進捗状況報告
3. JP 通信　8 月号新連載について

審　議

1. 1.2022 年司教のための社会問題研修会について
   5 月 17 日の社会司教委員会定例委員会で上記研修会の企画が当協議会に依頼された。内容、テーマを検討した。
2. 沖縄復帰 50 年の声明文について
   6 月 23 日の慰霊の日に合わせて、声明を出すことを検討した。
3. 優先課題について
   5 月 13-14 日の定例委員会で検討した優先課題の具体案を検討した。

部落差別人権委員会

■第 2 回事務局会議

日　時　　2022 年 3 月 24 日（木）14:00-17:00
会　場　　ウェブ会議
出席者　　9 名

報　告

1. 2022 年度第 1 回事務局会議［1/14（金)］
2. 2022 年度第 1 回定例委員会［3/04（金)］
3. 秘書・委員の推薦・委嘱
4. ハンセン病家族訴訟原告団長のインタビュー［3/15（火)］
5. その他
   「同宗連」(「同和問題」にとりくむ宗教教団連帯会議）総会［4/19（火)］、「部キ連」(部落問題に取り組むキリスト教連帯会議）総会［5/16（月)］、狭山事件の再審を求める市民集会［5/24（火)］が予定されている。

審　議

1. ハンセン病問題冊子
   次回社会司教委員会定例会議への提案を検討するため拡大合同編集チームの打合せを行う。
2. アンケートについて
   部落差別問題、ハンセン病問題についてのアンケートを検討した。具体的にするため次回再度検討する。
3. 水平社宣言 100 年シンポジウム
   大阪教会管区部落差別人権活動センター（部活センター）との共催。詳細はスタッフの打合せで今後詳細を決めていく。
4. 全国会議
   テーマを「解放への歩みをともに　水平社宣言から 100 年　―　狭山事件、ハンセン病問題に問われて」とする。
5. 2022 年度事業計画
   5 月末以降の会議では、対面とオンラインとのハイブリッドでの開催を検討する。

中央協議会事務局

■総務

7 月会議予定

5 日(火)	第 1 回「同宗連」第 2 連絡会	立正佼成会 事務庁舎
6 日(水)	タリタクム日本運営委員会	日本カトリック会館
7 日(木)	常任司教委員会	〃
7 日(木)	難民移住移動者委員会 担当者・実務者ネットワーク情報交換会(ウェブ会議)	〃
7 日(木)	難民移住移動者委員会 事務局会議（ウェブ会議)	〃
11 日(月)	典礼委員会 定例会議（ウェブ会議)	〃
11 日(月)	ベトナム人司牧者のつどい	〃

13 日(水)	正義と平和協議会定例委員会	〃
15 日(金)	災害時の緊急対応支援チーム (ERST)	〃
19 日(火)	2022 年度 第 1 回臨時司教総会	〃
22 日(金)	正義と平和協議会事務局会議(ウェブ会議)	〃
27・28 日(水・木)	会計士監査(第 2 四半期)	〃

<会報 2022 年 7 月号　公文書>

第 2 回「祖父母と高齢者のための世界祈願日」教皇メッセージ

(https://www.cbcj.catholic.jp/2022/06/23/24804/)

談話　沖縄慰霊の日にあたって

日本カトリック正義と平和協議会 prot22-09

(https://www.cbcj.catholic.jp/2022/06/23/24811/)

第 16 回通常総会シノドス教区回答の御礼（日本語）

(https://www.cbcj.catholic.jp/2022/06/27/24820/)

第 16 回通常総会シノドス教区回答の御礼（英語）

Thanks for Diocesan Responses to the XVI Ordinary General Assembly of the Synod of Bishops

(https://www.cbcj.catholic.jp/2022/06/28/24824/)

カトリック中央協議会　「 会報 」　2022 年 7 月号　（通巻 600 号）
発行日　2022 年 7 月 10 日
発行　　宗教法人カトリック中央協議会　　https://www.cbcj.catholic.jp
〒135-8585　東京都江東区潮見 2-10-10　電話 03-5632-4411　Fax 03-5632-4457